

平成 29 (2017) 年度ながの環境パートナーシップ会議活動報告書

活動の概要

平成 29 (2017) 年度は、長野市の環境ビジョンの実現に向け「つなぐ・伝える・行動する」を行動指針とし、プロジェクト、フォーラム、広報活動などに取り組みました。また、本会の行動指針である「アジェンダ 21 ながの-環境行動計画-」の見直しを行ったほか、希少動植物保護団体の参画によるプロジェクトの創設や事業者・他団体との連携など、新たな協働による環境活動を展開しました。

1 各プロジェクトの活動

(1) プロジェクト及びスペシャルプロジェクトへの取り組み

① 生ごみ削減・再生利用プロジェクト

キッズ生ごみ農園クラブを創設してから 2 年が経過。生ごみの堆肥を利用して野菜を収穫し、春と秋に収穫祭を開催したほか、生ごみと野菜の交換市を毎月定期的に開催、朝市で野菜の販売もできました。また、各種イベントに参加(信州環境フェアにて展示・クイズ・生ごみ教室、アモーレフェスタにて展示・クイズなど)し、啓発活動を実施しました。

また、生ごみ堆肥化キャラバン隊は、安茂里地区・若槻地区で活動を実施(維持)したほか、住民自治協議会主催の生ごみ減量講座や生ごみを出さないお料理教室等に参画し、周知啓発活動を行いました。

② レジ袋使用削減プロジェクト

「マイバッグふえすた」の手作りマイバッグコンテストでは例年通り、多くの申し込みがあり、市民にマイバッグを PR する貴重な機会となりました。また、新たな啓発用ツールのパンフレットを長野市内の全小学校に配布を行いました。これらの活動が実りマイバッグ持参率が 3 年連続で 60%を超えました(H29 年度: 60.3%)。

③ 市民の森づくりプロジェクト

29 年度は中学生、高校生の森林整備体験や山の日ウォーキングの自然観察会など新たな活動を実施しました。第二の市民の森選定作業は進みませんでしたが、「あさかわの里山と森を守る会」との合同作業など地元の方々とのつながりを進める活動ができました。29 年度の活動参加者は、山の日ウォーキング、環境学習会等に大勢の方が参加していただき年間 700 名を超える結果となりました。

また、活動実日数は増加傾向にあり活動の更なる広がりを感じました。

④ 太陽エネルギー普及促進プロジェクト

各種イベントに参加し啓発活動を行いました。また、ソーラーシェアリングの先進地(千葉県いすみ市)の視察を通して、太陽光発電と荒廃農地の再生を長野市で実施できないか検討を開始しました。

⑤ 聖山自然復元プロジェクト

リーダーの体調不良等諸事情により計画していた現場での活動がまったくできませんでしたが、他の環境団体、企業相互の交流・協働の場となった「第 7 回ながの環境団体大集合」に参加(出展)し、啓発活動を実施しました。

⑥ 子どもの環境学習支援プロジェクト

中高生、大学生を対象とした環境学習の支援として「第 6 回国際ユース環境会議」(開催場所: 小田切地区)を開催し、25 名のユースの参加を得て、「フードロス」をテーマに環境ワークショップや英語でのディスカッションなどを行いました。併せて、小田切地区の自然や生活についても学びました。

開催するに当たり、長野県環境保全協会、株式会社ミールケア、プロジェクトサポーター事業者の直富商事株式会社などの各団体と連携・協力を得ることができ、協働関係の構築ができました。

⑦ ながのカーボンオフセットプロジェクト

事業者・団体・市民が手軽に参加できるカーボンオフセットクレジット（CO2 排出権）の制度設計を予定していたが、具体的な活動の展開には至りませんでした。なお、今年度は、信州大学工学部地域環境演習Ⅰで2名の学生を受け入れ、大学内で利用できる仕組みづくりを検討しました。

⑧ 小生物の育成環境保全プロジェクト

例年通り地元小学校児童生徒や市民を対象とした自然観察会を開催したほか、オオムラサキ繁殖地の整備（下草刈り・間伐・外来植物ニワウルシの除伐・飼育舎の設置等）を実施したことにより、越冬幼虫調査の結果、多くの幼虫を確認することができました。また、「松代ベニエドヒガン1,000本桜大作戦」と銘打って、エドヒガンを市内に広げるため、エドヒガン種採取及び昨年育苗した苗の接ぎ木作業を実施し、生長した苗木を善光寺や地元小学校等に約400本を配布しました。

⑨ ぼんすけ育成プロジェクト

ぼんすけ（シナイモツゴ）達が住むすばらしい里山の保全・再生を目指して、チーム自ら稲作と林檎の栽培を開始し「ぼんすけブランド」として販売しました。また、他団体等の協働によるため池の保全活動等を行うなどぼんすけを含む里山の保全活動が展開できました。

⑩ ゴマシジミ保護・育成プロジェクト【新規プロジェクト：平成30年1月理事会で承認】

ゴマシジミの生息数が少ないため、現状維持に傾注しました。具体的には、生息地内の草刈・間伐の捕獲禁止の立て看板の作成・設置、生息地内のパトロール・注意喚起、ワレモコウの育苗・植栽・保護などを実施しました。また、ゴマシジミの一生を描いた紙芝居を作成し、啓発活動として各地で上演したほか、紙芝居を全小学校へ配布しました。

⑪ 生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）プロジェクト

休会（活動継続に向け調整中）

⑫ 第7回ながの環境団体大集合スペシャルプロジェクト

ながの環境団体大集合の開催に向け、スペシャルプロジェクトを立ち上げ、全体構成やコンテストの方法等について各種団体等との協働により企画し、開催しました。なお、チーム員に学生3名が企画段階から参画しました。

（任期：5月26日（金）から1月16日（火）まで、会議開催数：8回）

【リーダー】 渡辺ヒデ子（ながの環境パートナーシップ会議）

【メンバー】 中城（長野市市民協働サポートセンター）、今井（長野市ボランティアセンター）、赤羽（ながの環境パートナーシップ会議）、堀池（長野市地球温暖化防止活動推進センター・ながの環境パートナーシップ会議）、河西（ながの環境パートナーシップ会議）、木山（信州大学工学部）、長房（信州大学工学部）、酒井（長野県短期大学）、水野（事務局）、関口（事務局）

(2) プロジェクトサポーター制度について

現在4つの各プロジェクトとサポーター事業者が次のとおり協働による事業を展開しました。

残念ながら29年度中は、新たなマッチングはできませんでしたが、引き続き、事業者との協働体制による環境活動を推進していきます。

※プロジェクトサポーター制度とは…

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に平成28年度に当制度を創設しました。

※協働事業の状況は次のとおりです。

【協働事業の状況】

プロジェクト名	サポーター事業者名	主な協働事業内容
生ごみ削減・再生利用	長野市委託浄掃事業協同組合	夏、秋の収穫祭へ組合員が参加
子どもの環境学習支援	直富商事株式会社	国際ユース環境会議へ社員を講師として派遣
小生物の育成環境保全	コマキ工業株式会社	桜の育苗事業に人的等の支援
ぼんすけ育成	信陽食品株式会社	自然観察会へ食品提供

(3) 信州大学工学部「地域環境演習 I 2017」の受け入れ

信州大学工学部が、「自分でPDC Aサイクルを機能させて行動できる人材」の養成を目指し実施する「地域環境演習 I 2017」の受講生を、各プロジェクトチームで受け入れ、協働による環境活動を行いました。

また、9月23日(土)には、信州大学工学部で、参加学生による活動成果発表会が行われました。

【信大生の受入人数】 11人(前年度28名)

【受入プロジェクト】 レジ袋使用削減 5人、子どもの環境学習支援 4人、ながのカーボンオフセット2人

2 ながの環境パートナーシップ会議全体での活動

(1) 第7回ながの環境団体大集合

団体や企業の環境活動を次世代に向けて、どのようにつなげていくのかをテーマに「次世代へつなぐ環境活動アイデアコンテスト」を開催しました。また、団体、企業相互の交流・協働のきっかけになることを目的に、各ブースでポスターセッションを行いました。

また、若者の皆さんが審査員となり、各団体や企業の活動について若い世代のセンスあふれるユニークな表彰を行い、環境活動を次世代につなぎ伝える場となりました。

日時：平成29年12月16日(土) 13:00~16:30(開場12:30)

会場：長野市生涯学習センター4階 大学習室1・2・3、ホワイエ、控室1・2・3

【コンテスト】

参加団体等による3分間のプレゼンを行い、そのプレゼンに対し審査員や来場者との3分間の質疑応答を実施しました。

【ポスターセッション(ブース発表・交流)】

来場者は自由に各ブースを見学しながら、活動発表の確認や交流を行いました。また、フードドライブ及び信州こども応援ドライブの受付コーナーを設置し、それぞれの活動を支援しました。

【P会議環境スタンプラリー】

環境クイズを通して楽しく学び、環境問題等を自分のこととして考えてもらうため、スタンプラリーを行いました(スペシャルプロジェクトの若者メンバー4名が企画)。

【大集合した団体・企業・学校】

大集合した団体等の皆さん ※はブース出展のみ

○団体 信州水環境マップ・ネットワーク、NPO法人フードバンク信州※、NPO法人NPOホットライン信州、NPO法人みどりの市民、希少種の会※、ライトダウンながの実行委員会、浅川地区住民自治協議会 ゴマシジミ保護・育成チーム、母さんの玉手箱本舗企業組合※

○企業 株式会社ミールケア(いきものみつけファーム in ながの)、株式会社八十二銀行※

- 学 校 信州大学工学部環境学生委員会※、長野県立長野工業高等学校機械科、長野県立長野工業高等学校基礎工学科、長野県立長野工業高等学校環境システム科、長野県立更級農業高等学校環境科学コース
- ながの環境パートナーシップ会議プロジェクトチーム
生ごみの削減・再生利用、レジ袋使用削減、市民の森づくり、太陽エネルギー普及促進
聖山自然復元、子どもの環境学習支援、小生物の育成環境保全、ぽんすけ育成※

【審査委員長】 高木直樹氏（信州大学工学部教授）

【審査員】 市民より公募・16～30歳：18名

長野高等学校学生（2名）、第一学院高等学校長野キャンパス学生（2名）

長野東高等学校学生（3名）、信州大学教育学部学生（2名）

信州大学工学部大学院院生（2名）、信州大学工学部学生（1名）

会社員（1名）、長野市役所職員（5名）

【表彰5団体】 ・夢があるで賞：生ごみの削減・再生利用プロジェクト

・私たちがやってみたくて賞：ライトダウンながの実行委員会

・想いが伝わったで賞：NPO法人みどりの市民

・つないでいくべきで賞：小生物の育成環境保全プロジェクト

・審査委員特別賞：NPO法人NPOホットライン信州

【参加者数】 198名（前年度：180名）

3 広報

(1) ながの環境パートナーシップ会議ホームページの運用

- ・各プロジェクトの出前講座やイベント等の予定及び活動報告などを掲載
- ・他団体などから情報提供されたイベント等を掲載

(2) ながの環境パートナーシップ会議平成28年度活動成果報告書「手をむすんで」を発行

ニュースレター「手をむすんで」に代わる本会の活動を情報発信していくため、新たに平成28年度のながの環境パートナーシップ会議活動成果報告書「手をむすんで」を発行し、会員や関係機関にPRしたほか、新規会員の勧誘時に活用いたしました。

【規格】 表紙4P 本文36P 中綴じ仕上げ

【印刷数】 300部

【内容】 ・ながの環境パートナーシップ会議の案内
・平成28年度運営方針
・ながの環境パートナーシップ会議活動成果報告
・プロジェクトの活動成果報告
・信州大学工学部地域環境演習の報告
・新聞記事
・役員名簿

【協賛団体】 発行に際し、協賛いただいた事業者8団体の広告を掲載しました（広告料を頂戴しました）。

(3) イベント等への参加

① 信州環境フェア 2017

日時：平成29年7月29日（土）午前10時～午後5時

平成29年7月30日（日）午前10時～午後4時

会場：長野市 ビッグハット

ながの環境パートナーシップ会議ブース来場者：450人（前年度：400人）

内容：ながの環境パートナーシップ会議の活動紹介（パネル展示、パンフレット配布など）
プロジェクト活動紹介、環境クイズなど（生ゴミ削減・再生利用、レジ袋使用削減
市民の森づくり、ぽんすけ育成）

※新規会員の勧誘を行ったところ、1個人、1団体が入会しました。

(4) 電子メールの活用

平成30年4月から電子メールにて本会会員、関係機関及び長野市役所職員宛へ各プロジェクトチーム等が開催するイベントの情報発信を開始しました。

4 他団体との連携

(1) 第7回ながの環境団体大集合への事業所・環境保全団体への働きかけ

事業所・環境保全団体との連携強化を図るため、周知を図り参加依頼を行いました。

参加団体：15団体

(2) 「ライトダウンキャンペーン 2017in ながの（10周年記念）」に参加協力

本会は、ライトダウンながの実行委員会の構成団体として、温暖化防止・CO₂削減の啓発活動に協力しました。

【キャンペーン期間】 夏： 6月21日（水）～7月7日（金） 午後8時から10時

冬： 12月8日（金）～12月22日（金） 午後8時から10時

(3) 事業所・環境保全団体との活動の連携

【生ゴミ削減・再生利用プロジェクト】

住民自治協議会と協働で、生ゴミの堆肥化講座を開催しました。

【レジ袋使用削減プロジェクト】

スーパーの協力を得て、レジ袋削減を考える会など多くの環境保全団体とともに店頭キャンペーンを行いました。

【市民の森づくりプロジェクト】

浅川地区の「あさかわの里山と森を守る会」との合同作業など地元の方々とのつながりを進める活動を実施し、協力体制の確立を図りました。

【太陽エネルギー普及促進プロジェクト】

若槻地区で進められている営農型ソーラーシェアリング事業の事業主体である一般社団法人田中里山づくり里おこし事業会とソーラーシェアリングについて意見交換を行いました。

【子どもの環境学習支援プロジェクト】

「第6回国際ユース環境会議」を、実行委員会、参加スタッフ、支援組織との協力により継続して開催しました。

【小生物の育成環境保全プロジェクト】

オオムラサキ繁殖地での活動を、住民自治協議会及び他の保全団体を含めて組織された連絡会で

情報共有しながら、計画的な保全と環境学習会等を実施しました。

【ぼんすけ育成プロジェクト】

絶滅危惧種のシナイモツゴ（ぼんすけ）を保護していくため、県と連携を図りながら活動を実施しました。また、NPO法人生態工房（東京）との協働によりシナイモツゴの生息地であるため池の保全活動等を行いました。

【ゴマシジミ保護・育成プロジェクト】

長野市霊園に生息する絶滅危惧種「ゴマシジミ」の保護・育成活動を県、市及び研究機関との連携、協力により実施しました。また、浅川小学校児童の協力を得ながら、ゴマシジミの食草「ワレモコウ」の植栽を実施したほか、啓発活動として、紙芝居（がんばれ!!ゴマシジミ）を作成し、地元のボランティアクラブにこにこ一座と協力して各地で上演しました。

(4) フードドライブ及び信州子ども応援ドライブに協力

家庭で利用されていない食品・生活用品等の寄附を受け、必要とされている家庭や信州子ども食堂へお届けしているNPO法人フードバンク信州及びNPO法人NPOホットライン信州の事業に賛同し、フードドライブ及び信州子ども応援ドライブに協力しました。

事業名	実施日
フードドライブ	12/16：第7回ながの環境団体大集合
信州子ども応援ドライブ	12/16：第7回ながの環境団体大集合

(5) 身近な水環境全国一斉調査 2017 に参加

河川をはじめとする身近な水環境に対する市民の意識の高まりを受け、全国各地で数多くの市民団体等により水質調査が行われています。このような調査を全国統一の手法で同日に実施し、水環境に関する市民の理解と関心を深めることを目的に、平成16年から毎年、世界環境デー（6月5日）に最も近い日曜日を中心に全国一斉調査を実施しています。

そこで、本会では、この趣旨に賛同するとともに本会の活動の拡大と活性化を図るため、同調査活動に参加しました。

【開催日時】 6月4日（日） 8:00～12:00

【調査場所】 長野市内の千曲川、犀川への流入河川等約50か所

【参加者数】 4人

(6) 特定外来生物「アレチウリ」の駆除活動に参加協力

豊かな環境づくり長野地域会議が主催するアレチウリの駆除活動に参加協力しました。なお、本会は、同会議の会員です。

【開催日時】 6月30日（金） 9:30～11:00

【駆除会場】 長野市若穂牛島落合橋運動場周辺

【参加者数】 6人

(7) 山の日ウォーキング「スパイラルの森 森林散策と丸太切りに挑戦しよう」に共催

山の日が制定されたことを記念し、毎年、山に親しむとともに自然の大切さや地域の歴史を理解するため開催しています。本会は、共催者として運営に携わりました（主催：長野市）。

【開催日時】 平成29年8月11日（金・祝） 9:45～13:30

【場 所】ボブスレー・リ्यूージュパーク

【参加者数】92人

(8) 秋のゴミゼロ運動及び春のゴミゼロ運動に参加

市民の手でごみのない美しい環境をつくるための全市的な環境美化運動として、クリーン長野運動推進本部が主唱する「ゴミゼロ運動」に参加協力しました。

【開催日時】秋：平成29年10月15日（日）9:00（概ね1時間）

春：平成30年5月27日（日）9:00（概ね1時間）

【場 所】秋：川中島古戦場史跡公園ほか、春：犀川第2緑地ほか

【参加者数】秋：11人 春：20人

(9) 長野市環境こどもサミットに参加協力

こども達が環境問題を理解し、地球環境について深く考え、今後の活動を契機となる場を提供するため、毎年環境こどもサミットが開催されています。本会は、主催者である同サミット実行委員会の構成メンバーとして、運営の一翼を担いました。

【開催日時】平成29年10月22日（日）10:00～13:30

【場 所】長野市芸術館アクトスペース

【参加者数】200人

(10) 地域づくり出会いのひろば（主催：長野県長寿社会開発センター）に参加

シニア世代や地域づくりに関心のある者がボランティア活動や地域づくり活動、就業などの社会参加活動に積極的に取り組むとともに、地域・業種を超えた新たな連携や協働の創出を図るため、「人材を求める側」と「何かをしたい側」を効果的にマッチングする「地域づくり出会いのひろば」に参加し、本会の活動を大いにPRしてきました。今後も主催者である長野県長寿社会開発センターと情報共有を図りながら、新規会員の勧誘や他団体との協働連携を推進していきます。

【開催日時】平成30年2月7日（水）13時30分～16時

【場 所】長野県社会福祉総合センター 3F 講堂他

【本会参加者】金井代表理事、関口（事務局）

※本会ブースへ来訪した人数 男性：3人 女性：1人 計4名

※P 会議と今後連携が可能と思われる団体数 4団体

(11) ポイ捨て・歩行喫煙等防止条例の施行セレモニー及び周知啓発活動

同条例に賛同するとともに本会の活動をアピールするため、同条例の施行日である平成30年4月1日に開催されたセレモニー及び周知啓発活動に参加しました。

【開催日時】平成30年4月1日（日）9:00～10:00

【場 所】長野駅コンコース広場等

【参加者数】10人

(12) 長野工業高等学校へ出前講座

同校の依頼を受け、本会の概要等を同校機械科の担当教諭及び生徒に説明してきました。

【開催日時】平成30年5月28日（月）12:40～14:00

【場 所】長野工業高等学校会議室

【参加者数】 11人

(13) 他の環境団体等への周知

平成 28 年度活動成果報告書「手をむすんで」やパンフレットを個人や事業所などに配付をしました。
また、各新聞に記事として取り上げられるなど環境活動をPRしました。

5 会議

(1) 通常総会

日 時：平成 29 年 6 月 11 日（日）10：00～11：30

会 場：長野市ふれあい福祉センター 5 階 ホール

出席数：出席者数 96 名（出席者 35 名＋委任状 61 名 会員数 135 名）

内 容：平成 28（2016）年度活動報告、収支決算報告、監査報告について

平成 29（2017）年度運営方針（案）、活動目標・活動計画（案）、収支予算（案）について

(2) 理事会

ながの環境パートナーシップ会議の運営等について協議するため、理事会を 12 回開催しました。

第 4・6・7・8・11・12 回の理事会では、プロジェクトリーダーとの合同会議を開催し、各チームリーダーから上半期の進捗状況と下半期の計画等について説明を受け、プロジェクト活動の進捗状況について助言を行いました。

また、事業所会員の参画、本会運営体制やアジェンダ 21 ながの-環境行動計画-の見直しなど、本会が持つ課題に対して引き続き対応しました。

回数	開催日時	出席理事等数	備考
第1回	6月6日（火）18:00～	8人	
第2回	7月6日（火）18:30～	10人	
第3回	8月3日（木）18:00～	8人	
第4回	9月14日（木）18:00～	9人	合同会議
第5回	10月12日（木）18:00～	7人	
第6回	11月16日（木）18:00～	6人	合同会議
第7回	12月14日（木）18:00～	9人	合同会議
第8回	1月18日（木）18:00～	6人	合同会議
第9回	2月15日（木）18:00～	8人	
第10回	3月22日（木）18:00～	8人	
第11回	4月12日（木）18:00～	7人	合同会議
第12回	5月12日（木）18:00～	9人	合同会議

(3) 各プロジェクトチームのミーティングの開催

各チームで随時開催しました。

6 市政等への参画

審議会等名称	会員名
長野市総合計画審議会委員 長野市環境審議会委員 長野市地球温暖化防止活動推進センター運営委員 長野広域連合ごみ処理手数料審議会委員 豊かな環境づくり長野地域会議運営委員	金井 三平
長野市廃棄物減量等推進審議会委員（～H29. 11. 28）	渡辺 ヒデ子
長野市健康増進・食育推進審議会委員	佐藤 敏夫
長野市廃棄物減量等推進審議会委員（H29. 11. 29～）	西澤 和雄
長野県緑の基金理事	片桐 勝治
長野市環境こどもサミット実行委員会委員	小山 勝宏

7 その他

(1) 寄附

平成30年5月18日、長野卸売市場協同組合様から本会へ寄附金の贈呈がありました。

【内容】長野卸売市場内の約80の事業所で作る同組合は、市場内で出た古紙を原料にトイレトーパーを製造し、各事業所に販売しています。このたび、同組合からこのトイレトーパーの売上金の一部を市内の環境保全活動に役立ててほしいと本会に寄附していただきました。

(2) 会員

平成30年5月末現在の会員数 150人（平成29年5月末 135人）

(3) ながの環境パートナーシップ会議への年間活動参画者数

平成18年度 1,676人	平成24年度 4,176人
平成19年度 2,495人	平成25年度 3,638人
平成20年度 3,152人	平成26年度 3,566人
平成21年度 2,448人	平成27年度 3,766人
平成22年度 2,790人	平成28年度 4,112人
平成23年度 4,116人	平成29年度 4,629人